新評議員より一言

よろしくお願いします

三年一組　荻窪　亜衣李

私の高校三年間の目標は、「毎日笑顔」でいることでした。その目標は、叶えられていたのか疑問です。それは、私の高校生活が、毎年、新たな発見の連続だったからです。仲間との絆や、悔しさ、諦めない大切さや、努力できる素晴らしさ。私はこの三年間で、一回りも二回りも大きくなれたと感じています。少し大きくなれたとはいえ、これから先、まだ経験していない苦難が待っています。その苦難を乗り越え、また成長していきたいです。

三年二組　岡田　まゆ

富士河口湖高校で過ごした三年間はとても充実していました。大切な仲間との出会いや、一生懸命取り組んだ部活動、球技大会、紫光祭、修学旅行すべて素晴らしい思い出です。毎日一緒に過ごしてきた仲間とのおもいでを胸に夢に向かって頑張っていきます。

三年三組　貝原　光太郎

富士河口湖高校での三年間、中でも部活動が印象的です。楽しいことや嬉しいことより辛く苦しいことの方が多かったです。でも、その苦しみが自分を成長させてくれました。共に汗と涙を流した仲間と掴んだ関東出場の栄光はこれからずっと心の中で輝き続けるでしょう。三年間支え合った二十人の仲間はかけがえのない宝物です。自分達が果たせなかった甲子園出場のゆめは後輩たちに託し、これからも母校を応援していきたいと思います。

三年四組　加々見　拓真

富士河口湖高校で過ごした日々は、長いようで短く、あっという間の三年間でした。

三年間を振り返ってみるとたくさんの思い出がありますが、特に高校生活という新しい場でたくさんの人と出会ったことです。喜んだり、ふざけたり充実していました。そして私たちを支え、指導してくださった先生方には、感謝の思いでいっぱいです。

このような出会いを大切にし、これからの将来に向かって突き進んでいきます。

三年五組　中村祐介

富士河口湖高校での三年間。ここで得ることのできた数々の思い出やたくさんの仲間は、これからの人生の大きな財産です。多くの仲間と出会い、その仲間と同じ目標に向かって助け合いながらすごしてきた日々の生活は価値あるものとなりました。球技大会、強歩大会、紫光祭、そしてセンター試験。忘れることのできない思い出は数えきれないほどあります。

最後に三年間支えてくださった先生方と家族に感謝申し上げます。

三年六組　遠山　茜

富士河口湖高校での三年間は、とても充実していてあっという間でした。三年間を振り返ると、たくさんの「出会い」や「思い出」があります。私はその中でも、部活動で辛い時も支え合った仲間に出会えたことに誇りを持ち感謝をしています。そして厳しくも温かく指導してくれた先生方、部活動や勉強と、大変なときも励まし合った仲間に感謝のきもちを持ち、それぞれの夢に向かって歩んで行きたいと思います。

三年七組　真田　侑

富士河口湖高校で過ごした三年間は、あっという間でした。

高校生活を振り返ってみると、紫光祭、修学旅行、球技大会、強歩大会など、様々な思い出が蘇ってきます。どれも目標を持ち、仲間と助け合わなければ成し遂げられなかったものばかりです。河高でたくさんの人と出会い時間を共有したことで、大きく成長することができました。感謝の気持ちを持ってこれからの生活を送っていきたいと思います。

近況報告

おひさしぶりです

16期　小林　力

富士河口湖高校を卒業して早くも20年経ちます。卒業してから専門学校にいき、今は山梨県に勤めています。県立ということもあり、富士河口湖高校にも事務員として勤めることもありました。学生のころは事務室の存在なんて知らなかったのですが、仕事の内容は学校管理の仕事で、いわば裏方の仕事です。生徒とはあまり接触がないので存在を知られていなくても当然かなと思います。また、職員として先生と接していたのですが、高校を卒業して数年しかたってなく、当然恩師もいるわけで気にするなと思っても少々仕事がやりにくかった面もあります。また、早速我が母校に恩返しすることができ、よかったと思います。しかし新人だったので大変迷惑をかけたこともあります。その点に関してはかわいい卒業生のミスということで許していただいている、と思います。

同窓会総会も、学校に勤めていたときに参加したことがあります。そのときに卒業して20年たったら同窓会の準備をするのか、でもだいぶ先だな、などと思っていましたが、私生活も特に変化もなく、ボーとしていたらあっという間に今年同窓会を行う年齢となってしまいました。体格だけは未だに横に広がっており、お腹などはバームクーヘンのように年輪を刻んでいるのですが、頭脳は高校の時と変わっておらず「頭脳は子ども！体はおっさん！」という某名探偵の逆になってしまいました（そういえばあのマンガも20周年ですね）。

同窓会準備などで同級生と会うと、体格はだいぶ変わっても、すぐに当時のことを思い出し、まるでこの前高校にいたような感じで話ができました。そのとき自分の卒業アルバムを持って行ったのですが、なぜか卒業アルバムに白紙のページがありましたが、落丁でしょうか。

16期生の皆様へ。同窓会の準備を昨年秋から始めています。そして今年の7月に同窓会総会を行います。といってもそんなに気負い立たずに参加していただき、20年ぶりの再会を楽しみにして、思い出話に花を咲かせましょう。

新生徒会長より

37期　生徒会長　小林　礼奈

「全校で一つのものを創りあげる。」このことを目標とし、生徒会活動を行っていきたいと思っています。これを達成するために、校内での意見・情報交換の場を多く設けることが必要だと考えています。

一つのものを創りあげるには、全員が同じ目的をもつ必要があります。目的を明確にし、全員が同じ目的をもって行動すれば、一体感が生まれ、より良いものをつくれるはずです。そこで、「目的」をしっかりと共有するための場を多く設け、一つ一つの事を全員で確認していき、全員が同じ目的に向かって進んで確認していき、全員が同じ目的に向かって進んでいけるような生徒会活動をしていきたいです。しかし、その過程は私たちだけで、簡単に達成できる課題ではありません。先生方を含め、周りの人々の手もかりながら、努力し頑張っていきたいです。引き続き多大なるご支援ご協力をよろしくお願いします。

「旧生徒会長より」

36期　前生徒会副会長　堀内郁水

私にとって富士河口湖高校で過ごした三年間は、充実しており、とても輝かしいものでした。特に、学校行事ともに、生徒会活動において大きな行事である紫光祭では、生徒会本部役員をはじめ、多くの生徒、また先生方に協力していただき、大成功を納めることができました。日頃の学校生活においても、毎日笑顔で楽しく三年間を過ごせたことは、友達はもちろんのこと、先生方や保護者の皆様に支えていただいたからです。そして、私が生徒会副会長として頑張ることができたことも、そういった、周りの支えのおかげです。陰ながら支え、応援してくれた両親、悩みも楽しさもわかち合える友達、親身になってくれた先生方、私たち河高生を見守り続けてくれた保護者の皆様には、本当に感謝しています。

私は、この素晴らしい学校で過ごせた日々を誇りに思い、今後も富士河口湖高校の発展と活躍を願っています。

『～回窓会総会を終えて～』

第34回　同窓会実行委員長　宮下光宏

まず、無事に同窓会総会が終えることができたことに対して、ご賛同をいただいた企業・団体・個人の皆様、開催にあたってご助言・ご指導いただいた同窓会役員、諸先輩の方々、準備の段階で講演手配、協賛金の収集、ポスター等の作成などにご協力していただいた多くの方々、そして、全体計画、段取り、調整をはかってくれた渡辺大輔君に御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、同窓会総会当日は、午後の前半に元プロ野球選手の工藤さんの講演を行い、後半に同窓会総会・懇親会・二次会を行いました。前半の講演では工藤さんから「あきらめない心」と題して、プロ野球事情から教育方法、将来の夢など非常に興味深い話をいただき、あっという間に時間が過ぎたことを思い出します。とりわけ、地域の少年が壇上にあがり、工藤さんと直接コミュニケーションをはかり会場を盛り上げたことは印象的でした。少なからず、講演を通して地域への貢献ができたものと考えています。

後半の同窓会総会・懇親会では、多くの同窓生が20年振りの顔合わせだったと思います。同窓生は皆笑顔で明るく、あちらこちらで盛り上がっていました。この時、同窓会を開催してよかったなぁとしみじみと感じました。特に、二次会の参加者数は当初の見込みを大きく上回り、大いに盛り上がり楽しい時間が流れました。

この地域では人口減少や少子高齢化が進み、将来にわたり明るい材料がなかなか見つからない中、昨年の6月には富士山がユネスコ世界文化遺産登録、9月には2020年オリンピックの東京開催の決定など、明るい兆しも見えてきました。河高卒業生が各方面でご活躍され、同窓会で見られたような笑顔でいられる社会をつくっていければと思っています。

頑張りました！ 母校部活動報告

山梨県総合体育大会
- 男子　総合　16位
- 女子　総合　11位

関東大会以上

野球部
- 関東大会（5月）　1回戦敗退

卓球部
- 関東大会（6月）
  - 女子　シングルス　1回戦敗退
- 関東新人選抜大会（12月）
  - 女子　団体　15校中11位

漕艇部
- 全国選抜大会（3月）
  - 女子　シングルスカル　5位入賞
- 関東大会（6月）
  - 男子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
  - ダブルスカル　4位入賞
  - クォドルプル　準決勝進出
  - 女子　シングルスカル　準決勝進出
  - ダブルスカル　準決勝進出
  - クォドルプル　準決勝進出
- JOCジュニアオリンピックカップ
  - 女子　シングルスカル　7位入賞
- 国体関東ブロック予選（7月）
  - 3部門に出場、2部門で国体へ
- インターハイ（8月）
  - 男子　シングルスカル　準々決勝進出
  - ダブルスカル　準々決勝進出
  - クォドルプル　準々決勝進出
  - 女子　シングルスカル　4位入賞
  - ダブルスカル　準々決勝進出
- 国民体育大会（10月）
  - 女子　シングルスカル　優勝
  - 女子　クォドルプル　準決勝進出
- 関東選抜大会（11月）
  - 男子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
  - ダブルスカル　3位入賞 →3月の全国選抜大会へ
  - クォドルプル　3位入賞 →3月の全国選抜大会へ
  - 女子　シングルスカル　準決勝進出
  - ダブルスカル　4位入賞
  - クォドルプル　6位入賞

剣道部
- 全国選抜大会（3月）
  - 男子　団体　予選リーグ敗退
- 関東大会（6月）
  - 男子　団体　予選リーグ敗退
  - 個人　1回戦敗退
- インターハイ（8月）
  - 男子　個人　1回戦敗退

柔道部
- 関東大会（6月）
  - 男子　団体　5位入賞

陸上部
- 関東大会（6月）
  - 女子　500mW　9位入賞
- 関東選手権（8月）
  - 女子　500mW　26位入賞

カヌー部
- 関東大会（6月）
  - 男子　K－1　5位入賞
  - K－2　準優勝
  - 女子　K－1　準優勝
  - K－2　優勝
- インターハイ（8月）
  - 女子　500mK－1　3位入賞
  - 200mK－1　6位入賞
- 日本カヌースプリントJr選手権大会（8月）
  - 男子　ベストナイン認定（第4位）
  - 女子　500mK－1　3位入賞
  - 200mK－1　6位入賞
- 日本カヌースプリントJrユース（9月）兼2014海外派遣選手選考会
  - 女子　K－1　4位入賞
- 関東選抜大会（9月）
  - 男子　K－1　準優勝
  - K－2　準優勝
- 国民体育大会（10月）
  - 男子　500mK－1　8位入賞
  - 女子　500mK－1　8位入賞
  - 200mK－1　6位入賞

弓道部
- 関東選抜大会（9月）
  - 女子　個人　予選敗退

ソフトテニス部
- 関東大会（6月）
  - 男子　個人　1回戦敗退
- 関東大会（1月）
  - 女子　個人　1回戦敗退

なぎなた部
- 関東大会（6月）
  - 個人　ベスト8
  - 演技の部　3位入賞
- 山梨県新人大会（10月）
  - 個人　1位入賞 →3月の全国選抜大会へ

放送部
- NHK杯全国高等学校放送コンテスト大会（7月）
  - ラジオドキュメント部門　出場
- 高等学校芸術文化祭放送部門コンテスト
  - アナウンス部門　1位 →8月の全国総文祭へ

美術部
- Doodle 4 Google
  - 高校生部門　最優秀賞

社会科学部
- 社会科学部全国高等学校総合文化祭
  - 優秀賞（全国2位）
- 山梨県社会科学研究発表大会（11月）
  - 団体　最優秀賞 →8月の全国総文祭へ

スキー
- 関東大会（1月）
  - 男子スラローム　77位
- インターハイ（2月）
  - 男子スラローム　出場
  - 男子ジャイアントスラローム　出場